



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

東

上場会社名 朝日放送グループホールディングス株式会社 上場取引所
コード番号 9405 URL <https://corp.asahi.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西出 将之
問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略局長 (氏名) 新妻 大輔 (TEL) 06(6458)5321
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	20,080	△7.5	△346	—	△195	—	△130	—
2026年3月期第1四半期	21,704	11.0	253	—	355	—	1,872	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △622百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 2,156百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△3.13	—
2026年3月期第1四半期	44.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	125,938	82,442	64.1
2026年3月期	134,518	84,266	61.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 80,780百万円 2026年3月期 82,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	8.00	—	25.00	33.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	8.00	—	12.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,300	△3.9	4,000	△16.0	4,100	△7.2	2,700	△39.4	64.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	41,833,000株	2026年3月期	41,833,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	221,045株	2026年3月期	43,345株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	41,722,830株	2026年3月期1Q	41,732,141株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日から2026年6月30日まで)の日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等に伴い、緩やかに回復をしているものの、中東情勢や金融資本市場の変動の影響等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送・コンテンツ事業において、主力のテレビスポット収入の減収や、昨年開催された大阪・関西万博の反動による減収の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は200億8千万円となり、前年同期に比べて16億2千4百万円(△7.5%)の減収となりました。

費用面では売上原価が138億3千8百万円で、前年同期に比べて10億3千5百万円(△7.0%)減少しました。販売費及び一般管理費は65億8千8百万円となり、1千万円(0.2%)増加しました。この結果、営業損失は3億4千6百万円(前年同期は営業利益2億5千3百万円)となり、経常損失は1億9千5百万円(前年同期は経常利益3億5千5百万円)となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益を計上した結果、税金等調整前四半期純損失は1億3千6百万円(24億3千5百万円の固定資産売却益を計上した前年同期は税金等調整前四半期純利益28億2千6百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億3千万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益18億7千2百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりです。

[放送・コンテンツ事業]

放送・コンテンツ事業の売上高は166億2千6百万円となり、前年同期に比べ16億1千万円(△8.8%)の減収となりました。テレビのネットタイム収入、動画配信収入、コンテンツ二次利用収入は増加したものの、スポット収入の減収や昨年開催された大阪・関西万博開催に伴うイベント関連収入の剥落等によるものです。減収に伴い営業費用も減少したものの、3億6千7百万円の営業損失(前年同期は営業利益1億8千5百万円)となりました。

[ライフスタイル事業]

ライフスタイル事業の売上高はハウジング事業は住宅展示場の閉場による落ち込みはありましたが、通販事業が34億5千3百万円となり、前年同期に比べて横ばいの1千4百万円(△0.4%)の減収となった一方で、営業費用はやや増加し、2千6百万円の営業利益(前年同期は営業利益7千1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて85億7千9百万円減少し、1,259億3千8百万円となりました。法人税、消費税等の納付、1年内返済予定の長期借入金の返済、配当支払等により現金及び預金が減少したことや、受取手形、売掛金及び契約資産、有価証券が減少したこと等によるものです。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて67億5千5百万円減少し、434億9千6百万円となりました。1年内返済予定の長期借入金、未払金等が減少したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて18億2千4百万円減少し、824億4千2百万円となりました。配当金の支払や親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことに加え、自己株式の買い付けを行ったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は想定の範囲内で推移しているため、通期連結業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回発表予想のとおりとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,979	16,885
受取手形、売掛金及び契約資産	16,581	13,914
有価証券	13,201	11,895
棚卸資産	1,741	1,848
未収還付法人税等	84	86
その他	3,105	3,775
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	56,689	48,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,753	18,642
土地	14,510	14,510
その他（純額）	7,632	7,583
有形固定資産合計	40,896	40,735
無形固定資産		
ソフトウェア	956	870
のれん	385	369
その他	140	141
無形固定資産合計	1,482	1,381
投資その他の資産		
投資有価証券	18,107	17,882
退職給付に係る資産	7,508	7,580
その他	9,833	9,960
貸倒引当金	△23	△25
投資その他の資産合計	35,426	35,398
固定資産合計	77,804	77,515
繰延資産		
社債発行費	24	21
繰延資産合計	24	21
資産合計	134,518	125,938

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	50	50
1年内返済予定の長期借入金	1,827	805
未払金	9,758	7,590
未払法人税等	2,346	83
引当金	954	1,032
その他	8,435	7,128
流動負債合計	23,370	16,690
固定負債		
長期借入金	1,924	1,814
社債	10,000	10,000
退職給付に係る負債	5,675	5,714
資産除去債務	1,562	1,538
その他	7,718	7,737
固定負債合計	26,880	26,805
負債合計	50,251	43,496
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	6,032	6,032
利益剰余金	59,870	58,695
自己株式	△24	△170
株主資本合計	71,178	69,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,733	4,520
為替換算調整勘定	—	2
退職給付に係る調整累計額	6,693	6,400
その他の包括利益累計額合計	11,426	10,923
非支配株主持分	1,662	1,662
純資産合計	84,266	82,442
負債純資産合計	134,518	125,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	21,704	20,080
売上原価	14,874	13,838
売上総利益	6,830	6,241
販売費及び一般管理費	6,577	6,588
営業利益又は営業損失(△)	253	△346
営業外収益		
受取利息	7	26
受取配当金	120	134
その他	67	70
営業外収益合計	196	230
営業外費用		
支払利息	27	25
持分法による投資損失	48	40
その他	17	13
営業外費用合計	93	80
経常利益又は経常損失(△)	355	△195
特別利益		
固定資産売却益	2,435	—
投資有価証券売却益	—	59
持分変動利益	35	—
特別利益合計	2,470	59
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,826	△136
法人税等	942	△17
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,883	△119
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	11
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,872	△130

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,883	△119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	470	△204
為替換算調整勘定	—	2
退職給付に係る調整額	△176	△293
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△8
その他の包括利益合計	272	△503
四半期包括利益	2,156	△622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,145	△634
非支配株主に係る四半期包括利益	11	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送・コンテンツ事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,236	3,468	21,704	—	21,704
セグメント間の 内部売上高又は振替高	133	42	175	△175	—
計	18,369	3,511	21,880	△175	21,704
セグメント利益	185	71	256	△3	253

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△175百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
- 2 セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去8百万円及び報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用△12百万円であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送・コンテンツ事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,626	3,453	20,080	—	20,080
セグメント間の 内部売上高又は振替高	126	45	171	△171	—
計	16,752	3,499	20,251	△171	20,080
セグメント利益又は損失 (△)	△367	26	△341	△5	△346

- (注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△171百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去4百万円及び報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用△9百万円であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	895百万円	893百万円
のれんの償却額	27百万円	16百万円